

倫理委員会会議の記録の概要

2011年8月18日、森崇英、不妊センター長より申請のあった研究課題「制御性T細胞による原因不明着床不全に対する新規着床促進法の基礎検討」について院内倫理審査委員会を開催した。

森不妊センター長より研究の概要について説明があり、それを踏まえて北脇委員長より子宮内膜生検の安全性、必要性について質問があった。子宮内膜生検は婦人科の一般検査として通常行われていること、また問題があった場合も保険診療内で治療がおこなわれること。子宮内膜生検が非常に特殊な検査でないことなど回答があった。藤原副委員長からは患者説明書に難解な部分があるのでもっと平易に書き改めるようにとの指摘があり、該当部分を分かり易く改変した。さらに対照患者の同意が得にくい場合でも、理解を得られるよう努めた上で同意が得られなければ患者の意志に従うこと、同意書での署名時に立会人の署名を得る必要性はないこと、研究対象となる患者の治療歴などは考慮しないこと、など各委員からの質問に対して森不妊センター長より回答した。その他、本研究にかかる費用については、当クリニック負担とすることなどを含め、慎重審議が行われた。